

## ■ 中間提言・地域フォーラムについて

- 「地域コミュニティ」の定義について、「課題解決のため」とするのは違和感がある。
- 総論は賛成だが、各論としてフォーラムの運営に不安がある。
- コミュニティ協議会の負担が増加することで、ますます協議会の敷居が高くなる。結果人を遠ざける。
- フォーラムはモデル地区として数か所から実施する。
- フォーラムを運営する団体はコミュニティ協議会ではなく、新たに組織した方がいいのでは。
- フォーラムの課題解決の段階として、①地域で解決できる段階と②行政が入る必要がある段階に分けて考えた方がいい。
- 行政側の職員体制を充実させる(たとえば地区担当制など)ことに踏み込んだ内容にしてもいいのでは。
- 学びの場の提供によりコーディネーターとなる人材を育成し、つなぐ力を地域に根付かせる。
- 自主三原則との関係の整理及びその評価と見直しを。

## 再確認が必要な検討課題 ①コミュニティ協議会に参加しやすい場づくりについて

- 論点1 地域コミュニティの定義が現在のままでは、委員の固定化や閉鎖性を助長させる。また、フォーラムをコミュニティ協議会が担うことで負担感が増し、委員の固定化等の問題が解決しないということについて。  
⇒【意見一覧表】 番号7、8、31、49、53、121参照
- 論点2 コミュニティ協議会の運営委員を各活動団体から担ってもらうことや、運営委員の定年制や年数制限により、新たな人材を取り込む仕組みづくりについて。  
⇒【意見一覧表】 番号30、93、96、99、100参照
- 論点3 地域コミュニティに関わる機会が多い未就学児から小中学校の保護者の参加を促し、担い手へ育てる仕組みづくり。また、その関わりの中で協議会(や行政)が地域のキーパーソンをスカウトする役割を持つことについて。  
⇒【意見一覧表】 番号57、106、108参照

## 再確認が必要な検討課題 ②コミュニティセンターの機能・管理運営について

- 論点1 多世代の居場所として自由に利用できる空間と各活動団体の居場所をつくり、利用の促進と交流のきっかけをつくること。また、窓口サービスの向上や、新たに行政サービス機能を持たせることにより、入り口の敷居を低くすることについて。  
⇒【意見一覧表】 番号59、129、131、134、136参照
- 論点2 成長過程で地域に関わっていくことを念頭に置いた小学校区とコミュニティエリアの同一化。また、学校とコミュニティの関わりを密接にするためにコミュニティセンターを学校に併設することについて。  
⇒【意見一覧表】 番号106、108、119、123、124、125参照
- 論点3 コミュニティ協議会が指定管理者となったことへの外部評価と検証により、一定水準のサービスを確保し、課題の洗い出しを行うこと。また、フォーラムの運営(コミュニティ協議会)と指定管理者(公募)を切り離し、窓口運営を指定管理者に一本化することについて。  
⇒【意見一覧表】 番号59、129、132、133、135参照